

手編みの靴下を寄贈していただきました

11/8

町内にお住いの飯島順昭さん、恵美子さんご夫婦から手編みの靴下が寄贈されました。飯島さんはここ数年、冬の時期に町内の高齢者施設へ手編みの靴下を寄贈されており、本年は町内のグループホーム3カ所へお配りしました。

入居者の皆さんは「温かそうだね」と笑顔で靴下を受け取りました。



西春別駅前地区清掃ボランティア



10/17

別海駐屯地曹友会による地域清掃が実施されました。別海駐屯地司令や、曹友会会員を含む111名の別海駐屯地所属隊員が、別海駐屯地周辺を中心にゴミ拾いを行い、地区の美化と環境保全につながりました。

別海高校野球部 ペンキ塗りボランティア

11/5

冬季間の体力づくりの場として町民に親しまれている町営スケートリンクの維持管理のためのペンキ塗りが町スケート協会を中心に実施され、別海高校野球部の部員20名もボランティアとして参加しました。

別海高校野球部は「地域に応援されるチーム」を目指し、これまでもクリーン作戦などの町内イベントに積極的に参加されており、ペンキ塗りボランティアは今回で6回目となります。



北海道「防火・防災」作品コンクール入賞



11/1

令和4年度北海道「防火・防災」作品コンクールに応募していた、別海中央小学校4年生の斎藤大夢くんのポスター作品が「北海道消防協会長賞」に入賞し、北海道根室振興局地域創生部長より表彰状の贈呈が行われました。

このコンクールは北海道と（公財）北海道消防協会が主催し、防火・防災に関する作文またはポスターを、道内の小学生高学年と中学生を対象に募集しているものです。

防災訓練を実施しました 10/21

の手順や設備の使用方法などを確認しました。

災害はいつ起こるか分かりません。訓練の実施や家庭での備蓄など、日ごろから備えておきましょう。



床丹町内会



本別海町内会



走古丹町内会

「苗作り大作戦」が実施されました

北海道開発局が国営環境保全型かんがい排水事業の一環として行っている別海高校生との連携活動「苗作り大作戦」が

10/12

実施されました。これは土砂や家畜ふん尿が直接河川へ流入するのを防止し、河川水質の改善が期待される、土砂緩止林の苗木を育成し植樹する取り組みで、本年度19年目を迎えました。

午前中に1年生が播種、午後からは2年生が鉢上げと種取りの作業を行いました。育てた苗は参加した生徒が3年生になったときに植樹されます。



播種



鉢上げ



種取り

表敬訪問



10/19

北海道学童軟式野球都市対抗戦（10月29日苫小牧市）に根室・中標津地区選抜選手として臨む4名の選手が町長と教育長を表敬訪問しました。

大会に出場する選手は別海中央ジュニアイーグルスから岩浅琉吾選手と荘司哉太選手、NKバッファローズから今井琥太郎選手と原井瑞穂選手が出場します。

代表して選抜チームで副主将を務める岩浅琉吾選手から、大会への意気込みが語られました。

大会では、1回戦で室蘭選抜と対戦し2対6と惜しくも敗退しました。

別海消防署で消防長査閲を実施

10/26

別海消防署（署長 山田勝人消防司令長）が、根室北部消防事務組合消防長（下山和夫消防監）による消防長査閲を受けました。

日頃から消防職員としての資質向上と、消防業務に必要な知識や技術習得のため訓練に取り組んでおり、当日は訓練成果を披露するため職員を3隊に分け、火災を想定した訓練、ドローンを活用した搜索訓練、交通事故を想定した救助訓練を実施しました。

この訓練により、教養を深めるとともに災害対応力と連携の強化を図ることができました。

最後に、下山消防長から自己の現場体験を織り交ぜた講評をいただき訓練を終了しました。



アドベンチャースクール学習会 文化・芸術はしご旅



10/16

中央公民館のアドベンチャースクールの学習会として、北海道立釧路芸術館と釧路市立美術館を巡る、文化・芸術はしご旅を実施しました。施設見学では、iPadを活用したフォトラリー形式で



展示物を鑑賞するなどして、作品の魅力や背景を深く読み解くことができました。